

令和4年度
原子力規制庁技術基盤グループ-原子力機構安全研究・防災支援部門
合同研究成果報告会

地震・津波研究部門における 研究概要

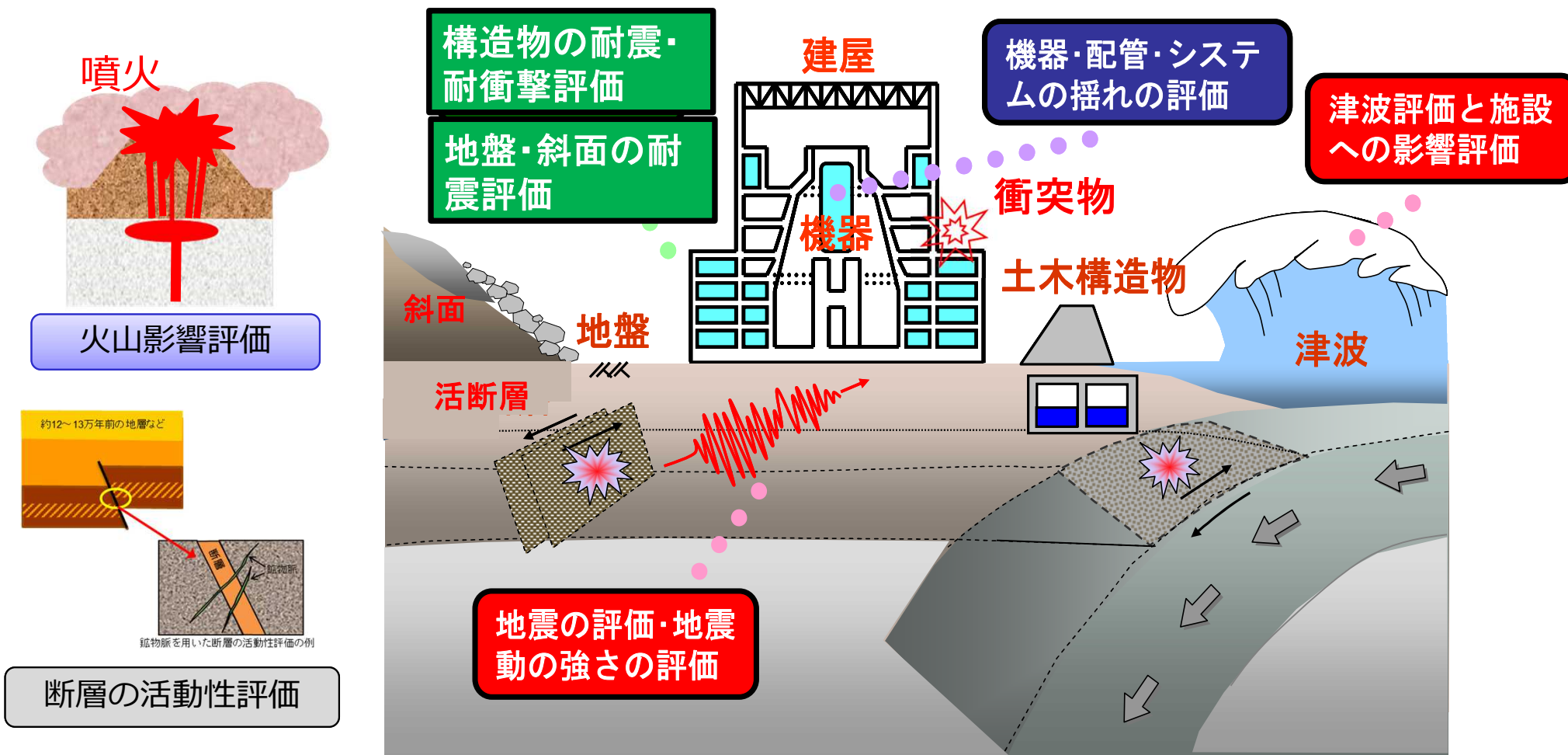
令和4年11月22日

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ
地震・津波研究部門

主任技術研究調査官
太田 良巳



地震・津波研究部門の主な所掌範囲

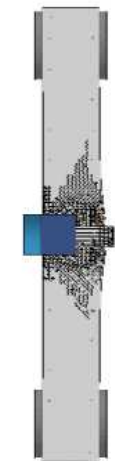
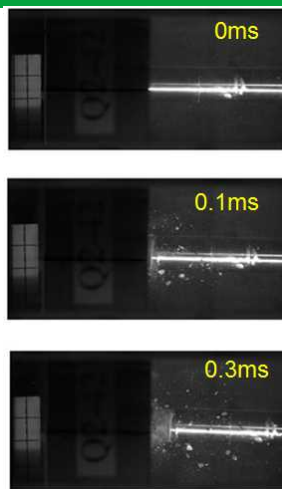


● 安全研究

- 地震、津波、火山などに関する理学的研究(ハザード研究：地質学、地震学、地球物理学、火山学、水理学、等々)
- 外力を受ける構造物や機器等に関する工学的研究(フラジリティ研究：土木工学、建築工学、機械工学、材料工学、衝撃工学、等々)



地震・津波研究部門の安全研究の進め方

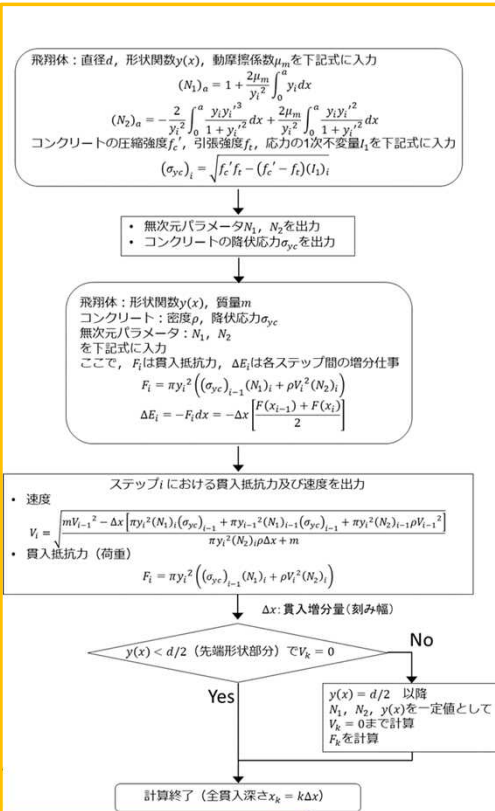


0.001 sec.

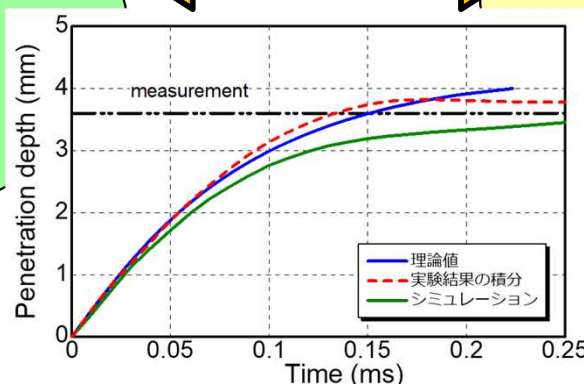
現象の確認
実験・調査
(既存情報・計測技術)

自然現象
物理現象

現象のシミュレーション
(解析技術)



現象の予知・予測
(解釈モデル・経験則・理論式の構築)



飛行体貫入に係る実験結果・理論評価・数値シミュレーション結果の比較



令和4年度研究実施項目

○ハザード分野

- (1) 震源近傍の地震ハザード評価手法の高度化に関する研究
- (2) 津波評価手法及び既往津波の波源推定に関する研究
- (3) 断層の活動性評価に関する研究
- (4) 大規模噴火プロセス等の知見の蓄積に係る研究

○フラジリティ分野

- (1) 地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討
- (2) 津波に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討
- (3) 飛翔体等の衝突に対する衝撃評価手法の高度化の検討

令和4年度安全研究計画

<https://www.nra.go.jp/data/000398336.pdf>